

1. 事業の位置付け

事務事業名	ホームレス自立支援事業		
事業担当	福祉部 福祉総務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等	ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法		
対象・受益者	自立の意思のあるホームレス、要支援者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
ホームレス状態に置かれている人々が、地域社会の一員として再出発し、健康で文化的な生活を送っています。		ホームレスの人が、自立した、健康で文化的な生活を送れるよう、生活に関する相談や、保健及び医療の確保などの支援をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	巡回相談実施回数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	24	24	24		
	実績	24	24	24		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	脱ホームレス数			単位	人
	説明・算定式	ホームレス状態から脱し、安定した居住の場を確保した人数				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	25	25	25		
	実績	25	31	39		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	県内市町村で横浜市、川崎市に次いで、3番目にホームレスの人が多く自治体として、法、基本方針等に基づき事業を推進する必要があります。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	法、基本方針等を踏まえつつ、それぞれのホームレスの人の状況に応じて、支援すべき内容、支援方法など有効性のある事業を実施します。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	法、基本方針等を踏まえつつ、それぞれのホームレスの人の状況に応じて、支援すべき内容、支援方法などにより事業を実施していることから、妥当性は高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	巡回相談等でそれぞれの状況に即した支援をする必要があるため、効率性の観点からは事業の改善が難しいところです。	○ 高 ● 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		巡回相談の開催(月2回)	巡回相談の開催(月2回)	巡回相談の開催(月2回)、全国調査の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	540	540	870
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	180	195	0
事業費 (A)		720	735	870
執行率 (%)		100.00	102.08	120.83
内訳	職員 (人)	3.23	3.23	3.27
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		27,103	27,103	27,325
フルコスト (A+B)		27,823	27,838	28,195

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①:予定どおり -	①:予定どおり -	①:予定どおり -
	主な取組と成果	「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を策定した。ホームレス巡回相談を24回(月2回)実施した。ホームレス自立支援推進会議、ホームレス自立支援検討部会、平塚市内のホームレスが起居する施設管理者との情報交換会を各1回、またホームレス支援団体との意見交換会を3回開催した。これにより目標としていた25人の脱ホームレスを実現することができた。	「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、ホームレス巡回相談を24回(月2回)実施しました。また、ホームレス自立支援検討部会、平塚市内のホームレスが起居する施設管理者との情報交換会を各1回、またホームレス支援団体との意見交換会を2回開催しました。これにより目標を上回る31人の脱ホームレスを実現することができました。	「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」に基づいて、ホームレス巡回相談を24回(月2回)実施しました。また、ホームレス自立支援検討部会及びホームレス自立支援推進会議、平塚市内のホームレスが起居する施設管理者との情報交換会を各1回、またホームレス支援団体との意見交換会を1回開催しました。これにより目標を上回る39人が生活保護等の支援につながりました。
検証結果		A:成果があがった	B:おおむね成果があがった	A:成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		平成22年度に「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を見直し(各事業の評価)、その後の方針に反映させる。	平成22年度に「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を見直し(各事業の評価)、その後の方針に反映させます。	平成22年度に「平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針」を見直し(各事業の評価)、その後の方針に反映させます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	西部福祉会館整備事業		
事業担当	福祉部 福祉総務課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、福祉団体	事業期間	～ 2009 年
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
住民主体による身近な生活支援活動などの地域福祉の拠点となるとともに、高齢者、障がい者、子育て中の親子などが集い、交流を深めています。		地域福祉を推進するため、西部地区（公所）に幼児から高齢者、障がい者などが利用できる福祉会館（老人福祉センターを含む。）を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	西部福祉会館整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	H19:実施設計5%、H20:建築工事35%、H21:整備完了60%				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	5	40	100		
	実績	5	40	100		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	長年にわたって地元から早期整備を強く望まれ、地元と共に積み上げられてきた事業であり、必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	地域福祉の拠点づくりのため、着実な事業実施が必要であり、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>□ 業務の執行体制（人員配置、業務分担）</li> <li>□ その他</li> </ul>	市西部地区の地域福祉を推進するため、幼児から高齢者、障がい者などが利用できる福祉会館を整備することから、妥当性は高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>□ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法（民活の余地、事業形態の検討）</li> <li>□ その他</li> </ul>	実施設計委託等により効率的な事業を推進しています。	● 高 ○ 中 ○ 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		実施設計、造成工事、公共柵設置工事	特殊基礎工事、建築工事など	建築工事、植栽工事など
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	12,078	36,759
	起債	0	176,000	593,000
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	37,875	69,956	207,098
事業費 (A)		37,875	258,034	836,857
執行率 (%)		78.81	50.59	134.98
内訳	職員 (人)	0.60	0.60	0.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,035	5,035	6,685
フルコスト (A+B)		42,910	263,069	843,542

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	遅れている理由	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -	①: 予定どおり -
	主な取組と成果	建物の実施設計及び土地の造成工事、公共柵の設置工事を行ったことにより、計画どおり西部福祉会館の整備に向けて準備を進めることができた。	建物の実施設計が完了し、建設説明会等を経て計画どおり西部福祉会館の整備に向けて建築工事に着手しました。	建物の建設を平成20年度からの継続事業として実施し、平成22年度の開館に向けて整備がすべて完了しました。
検証結果		A: 成果があがった 平成21年度への展開	A: 成果があがった 平成22年度への展開	A: 成果があがった 平成23年度への展開
今後に向けた課題		指定管理者制度の導入、施設の利用方法（利用時間、一部有料化）の検討などが課題である。	指定管理者制度の導入、施設の利用方法（開館日、一部有料化等）の検討などを進めています。	指定管理者制度により、会館の管理・運営を進めていきます。

1. 事業の位置付け

事務事業名	保健センター整備事業		
事業担当	健康・こども部 健康課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心できる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	~ 2007 年
委託、協働	【委託: 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
市民が安心して快適に利用できるように、保健施設の充実が図られています。		保健・医療サービスの充実のため、総合的な保健業務の拠点として、休日・夜間急患診療所などを備えた保健センターを東豊田地区に整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	整備打合せ回数			単位	回
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	12	-	-		
	実績	12	-	-		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	保健センター整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	H19:整備完了100%				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	100	-	-		
	実績	100	-	-		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	総合的な保健事業の拠点、また一次救急医療機関施設として必要不可欠な施設整備です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	施設を活用した市民の健康増進事業や母子の健診の充実、また休日・夜間急患診療所の診療科目、診療時間の拡充などが図られており、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低	
妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	効率的な施設維持や市民サービスの充実を図る体制を整備していることから、妥当性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	施設を利用する市民や、職員の意識を高めていく必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		整備	サービスの充実	サービスの充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	45,577	0	0
	起債	892,000	0	0
	その他 特財	1,100	0	0
	一般財源	453,834	0	0
事業費 (A)		1,392,511	0	0
執行率 (%)		97.93	0.00	0.00
内訳	職員 (人)	0.85	0.85	0.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,133	7,133	7,133
フルコスト (A+B)		1,399,644	7,133	7,133

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進捗状況	①: 予定どおり	—	—	—
	遅れている理由	—	—	—
主な取組と成果		総合的な保健業務の拠点として、休日・夜間急患診療所などを備えた平塚市保健センターを整備することができた。	総合的な保健業務の拠点として、休日・夜間急患診療所などを備えた平塚市保健センターを整備することができました。	—
検証結果		A : 成果があがった	—	—
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた課題		保健センターの整備事業が終了したので、今後は各種保健事業や市民サービスの充実を図る。	保健センターの整備事業が終了したことから、今後は各種保健事業や市民サービスの充実を図ります。	—

1. 事業の位置付け

事務事業名	高齢者・障害者のごみの戸別収集事業		
事業担当	環境部 環境業務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'01	1 総合的なサービスを展開する地域ケア体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	独居高齢者、障害者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民生活を支える多様な地域活動や、医療、福祉を始めとした総合的なサービスが充実し、年齢や障害の有無に関わらず、住み慣れた地域で誰もがその人らしく安心して暮らしています。		地域福祉の推進体制を充実するため、高齢者や障がい者で、ごみを集積所に運ぶことができない方を対象に戸別に収集するサービスを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	1世帯当たりの年間収集回数			単位	回
	説明・算定式	年52週のうち50週収集。対象者の収集回数延2,300回				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	50	50	50		
	実績	50	50	50		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	戸別収集者登録数			単位	世帯
	説明・算定式	-				
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標	40	50	50		
	実績	44	60	58		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度		
	目標					
	実績					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	該当者は増加の方向にあり、独居高齢者や身体障がい者の自立支援ニーズは高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	独居高齢者や障がい者の方の自立支援は継続して事業を進めてこそ成果が上がるものであり、事業継続による有効性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	対象者は社会的弱者であり、現行体制で対応するため妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	戸別に収集し、安否確認もあることから、効率性を求めることは難しいが、収集方法等の改善に取り組みます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額
事業内容		高齢者・障がい者のごみの戸別 収集	高齢者・障がい者のごみの戸別 収集	高齢者・障がい者のごみの戸別 収集
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00
内 訳	職員 (人)	0.48	0.48	0.48
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		4,028	4,028	4,011
フルコスト (A+B)		4,028	4,028	4,011

## 4. 事業展開の経緯

		平成19年度事業分	平成20年度事業分	平成21年度事業分
進 捗 状 況	①: 予定どおり	①: 予定どおり	①: 予定どおり	①: 予定どおり
	遅れている 理由	—	—	—
主な取組と成果		独居高齢者、障害者のごみの戸別 収集を行い、住み慣れた地域で安 心して暮らせる一助となった。	対象者が増加傾向にあるため、事 業の拡充に向けた検討を始めまし た。登録者60人(H21・3・ 31)	対象者が増加傾向にあるため、事 業の拡充に向けた検討を始めまし た。登録者58人(H22・3・ 31)
検証結果		A: 成果があがった	A: 成果があがった	A: 成果があがった
		平成21年度への展開	平成22年度への展開	平成23年度への展開
今後に向けた 課題		今後、ますます独居高齢者の数は 増える方向にあり、事業の拡大を 検討する必要がある。	今後、独居高齢者の数は増える方 向にあり、事業の拡大を検討する 必要があります。	今後、独居高齢者の数は増える方 向にあり、事業の拡大を検討する 必要があります。